

## 認知症専門部会より

### 【(仮称)もの忘れ検診の実施について】

- ・ 区に検診の制度があることが大切である。認知症状があっても身体的に不調がないため医療機関に未受診の方が多い。検診により医療機関に繋がることで、地域包括支援センターへの相談や、入院相談およびもの忘れ外来の新規相談に繋がりやすくなることが期待できる。
- ・ 認知症の予防の観点からとても重要な制度だと思う。
- ・ 検診の対象とならない年齢の方へ対応はどのようにするのか。
- ・ 区民に認知してもらおうための広報の内容も検討が必要ではないか。

# 各部会からの計画策定に向けたご意見

## 認知症専門部会より

### 【認知症本人および介護家族支援の強化・再編について】

- ・ サロン形式により和やかに話せる場の設置は良い。講義形式の家族介護者教室の参加者もテーマ以外の相談事を抱えている例がある。ひとつの専門職だけでなく多職種が入ってサロンを作れる状態にしていくと幅広い内容に応えることができるのではないかと。
- ・ 事業者の取り組みを伝えていく場にもなる。
- ・ 家族介護者サロンの名称では現在介護をしていない人は来ない。未来の認知症本人および未来の介護家族に向けた取り組みも考えてほしい。
- ・ コロナ禍において人が集まる形式をいかに保っていくのか考えていく必要がある。

# 各部会からの計画策定に向けたご意見

## 認知症専門部会より

### 【全般について】

- ・新型コロナウイルスにより感染予防策による認知機能や運動機能の低下がみられる高齢者がいることを踏まえ、感染症を予防しながら安心して参加できる取り組みを考え、どのように取り組んで行くのかを示すことが大切ではないか。

# 各部会からの計画策定に向けたご意見

## 在宅療養専門部会より

### 【在宅療養ネットワークの強化について】

・大泉エリアでは後期高齢者も多く、地域によってニーズの違いがあると感じている。練馬区薬剤師会では会員薬局を地域包括支援センター単位ごとに再編成をし、大泉エリアでは顔合わせ会の実施を予定している。医療・介護に定期的に繋がっていない方の相談事を、拾い上げて適切な機関につなげていきたい。在宅療養ネットワークの強化は、行政だけでなく、各専門職が取り組むことが重要だと思う。